|  |
| --- |
| 焦って勉強をする学生のイラスト（男子学生） | かわいいフリー素材集 いらすとや自学自習力向上に向けて(数学編) |
| 「自学自習」とは、「生徒が、目標達成に向けて、自分自身の現状を把握し、そのために必要な学習や訓練を計画し、自己調整しながら継続していく学習」のことです。なぜ自学自習が必要か全国の中学生に実施したアンケート調査の結果から、沖縄県は**「短大や大学まで行きたい」**と回答した割合**74％**で全国とほぼ変わらなかったのに対して、**「夢や希望を達成するために1時間～1.5時間以上家庭学習を行っている」**と回答した割合は沖縄県が**49％**と、他の地区と比べ、**約30％も低い**ことがわかりました。夢や目標はあるけど、それに向けた努力の仕方がわからない沖縄県の子どもたちは、いわゆる**願望型**と言われています。そこで、中学生のうちから目標に向けて、努力の仕方を身につけるために、今日は数学の先生に具体的な学習方法についてアドバイスをもらいました。 |

数学の自学自習の方法は２通り。**｢予習｣**と**｢復習｣**です。この２通りの勉強法について紹介します。

**予習：**数学の授業では、教科書やドリルと同じような流れで行っています。そこで、予習の3ステップを説明します。

**ステップ１：教科書で次の授業で学習する内容を読んでみる**

　　　　　　　　次の授業でどんな問題が出るかを見ておきましょう

**ステップ２：教科書やドリルで次の授業で学習する問題を解いてみる**

　　　　　　　　教科書やドリルの問題を解き方を見たり、これまで学習したことを使いながら自分で解いてみる

**ステップ３：疑問に思ったことやもっと知りたいことなどをまとめておく**

　　　　　　　　　 新しい言葉の意味や、解き方についてわからなかったことをまとめておいて、次の授業で理解できるようにしましょう。また、「こんな場合はどうしたら良いだろう」など、発展的に考えると、数学の力が身に付きます。

まずは、ステップ１からでもいいので、挑戦してみましょう。

**復習：**数学では、計算力を上げるために反復練習が大事です。そこで先生が考える効果的な復習の3つのポイントを紹介します。

**ポイント１：授業でわからなかったところをもう一度自分で解く**

　　　　　　　　　 授業でわからなかった問題を、まとめを見ながらもう一度自分で解いてみる。間違った内容を自分なりに理解できるようになるまで解くのがポイントです。また、一週間くらい空けてからもう一度解くと、解き方を忘れにくくなりますよ。

**ポイント２：授業で習った内容の問題をドリルで解いてみる**

　　　　　　　　　 授業で習った問題と同じような問題を反復練習する事で、計算力アップにつながります。ただし、解きっぱなしは絶対ダメです。自分で解答して、間違ったり、わからなかった問題は、解答を写し、どうして間違えたのかを考えることが大切です。

**ステップ３：授業で使った前の学習を振り返る**

　　　　　　　　　 数学は積み上げの教科なので、前に習った解き方をよく使います(3年生は、平方根で乗法公式や因数分解、2年生は連立方程式で方程式、1年生は文字式で正負の数の計算、その他分数の計算でもＯＫ)。授業で、自分が忘れていると感じた問題を振り返って、ドリルなどを使って計算練習すると、自分のつまずきの解消にもなります。

自分に合った復習に挑戦してみましょう。